

写

国 水 環 第 6 号
令和 7 年 4 月 10 日

文 部 科 学 省
総 合 教 育 政 策 局
男女共同参画共生社会学習・安全課長 殿

国 土 交 通 省
水 管 理 ・ 国 土 保 全 局
河 川 環 境 課 長
(公 印 省 略)

河川水難事故防止の取組実施についての協力願い(依頼)

国土交通省では、河川愛護月間(7月1日～7月31日)のうち、7月1日～7日を、「河川水難事故防止週間」と位置付け、毎年、河川における水難事故防止に関する啓発を重点的に行っているところです。

例年ゴールデンウィーク期間から学校等の夏休み期間にかけては河川利用者が増加する傾向があり、今年度も河川水難事故発生が懸念されます。

河川利用は基本的には自由使用であり、河川利用者が安全に河川を利用できるようにするためには、行政からの情報提供等に加えて、河川利用者自らが水難事故の危険性に対する認識を持つとともに、河川利用者が安全に利用できるよう、地域に住む人々が身近な河川の状況を常日頃から注視し、河川利用者の危険回避を促すような地域力の向上も望まれるところです。

国土交通省においては、各地域で普及啓発活動に取り組んでおりますので、貴省の関係機関へ周知していただきますようお願いいたします。

普及啓発に係る実施内容につきましては、別紙を参照願います。

【実施内容】

1. 河川水難事故防止に向けた協働の推進

国土交通省では、教育関係機関を含め関係機関との河川水難事故防止に向けた認識の共有・取組の協働等を推進します。

2. 水難事故防止に関する講習会等の実施

国土交通省において予定しているイベント・説明会等において、可能な範囲で河川の安全利用を啓発している団体などと連携を図りつつ、水難事故防止に関する説明・講習などを実施します。

3. 重点的な河川巡視の実施

日頃から実施している河川巡視において、水難事故が多発する場所を追加し、または重点的に点検を実施します。

4. 河川水難事故防止の「出前講座等」の実施について

児童の水難事故が多くなる夏休み期間に先立ち、河川水難事故防止週間を中心に、河川水難事故防止に関する出前講座等を可能な範囲で積極的に実施します。

5. ウェブサイト等による情報発信について

河川水難事故防止週間中及び夏休み期間中に実施、または予定の河川水難事故防止の啓発に関する内容を含んだ出前講座等の実施(予定)日、講座名、内容、実施対象等を各地方整備局等において積極的な情報発信を実施します。

(参考)国土交通省ウェブサイト

国土交通省 出前講座のご案内

URL:https://www.mlit.go.jp/delivery_lecture/delivery_lecture.html

< 参考情報 >

関係報告書や取組事例、リーフレット等の参考情報は下記URLからご覧いただけます。

(1) 普及啓発・学習ツール(リーフレット、水難事故防止動画等)

安全に楽しく川や水辺で活動するために活用を図っていただき、水難事故の防止にお役立て願います。

リーフレット

- 川遊び安全ノート「えんじょいいりバー」(公益財団法人 河川財団 作成)

URL: https://www.kasen.or.jp/Portals/0/pdf_mizube/enjoyriver.pdf

- 水辺の安全ハンドブック(公益財団法人 河川財団 作成)

URL: <https://www.kasen.or.jp/mizube/tabid129.html>

- 水難事故防止に関するデータ「No More 水難事故」

(公益財団法人 河川財団 作成)

URL: <https://www.kasen.or.jp/mizube/tabid324.html>

- ～MIZUBE ASOBI GUIDE～(水管理・国土保全局 河川環境課 作成)

URL: <https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/pdf/mizubeasobiguide.pdf>

水難事故防止動画

- 小学校の児童向けRPG風動画「リバーアドベンチャー-川に魅せられし者たち-」

(水管理・国土保全局 河川環境課 作成)

URL: <https://www.youtube.com/watch?v=lrkZCm11l0&feature=youtu.be>

学習用アプリ等

- 国土交通省・河川財団×うんこドリル「うんこドリル 川の安全」

(水管理・国土保全局 河川環境課・公営財団法人 河川財団 監修、文響社発行)

URL(冊子): <https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/pdf/unnkodoriru.pdf>

URL(WEB アプリ): <https://play.unkogakuen.com/manabi/game/river/?rf=drill>



(WEB アプリ)

- 水難事故防止に取り組む6団体が協働で制作

「水辺の安全学習アプリ」

(公益財団法人B&G財団 公開)

URL(WEB アプリ): <https://mizube-anzen.jp/>



(WEB アプリ)

(2) 全国の水難事故マップ

子どもの水辺サポートセンター(公益財団法人河川財団内に設置)では、河川水難事故防止のため、川や水辺を活用した安全で楽しい体験活動を推進する取組の一環として「全国の水難事故マップ」を同センターのウェブサイト上で公開しています。

全国の水難事故マップ

URL: <https://www.kasen.or.jp/mizube/tabid118.html>

<参考情報>

(3)ライフジャケット着用の普及キャンペーン

子どもの水辺サポートセンター（公益財団法人河川財団内に設置）等では、河川水難事故防止のため、川や水辺での事故を減らし、安全で楽しい体験活動ができるようライフジャケット着用の普及する取組の一環として「ライジャケ・オン・キャンペーン」を全国で開催する予定です。詳細は同センターのウェブサイトを参照ください。

ライジャケ・オン・キャンペーン URL: <https://www.kasen.or.jp/mizube/tabid230.html>

(4)川の指導者養成講座

河川水難事故防止に関する体験活動を行う場合は、正しい知識に基づき関連する資格を有している者が行う、または、サポートすることが望ましいとされています。そのため、指導者を養成する講座を活用することが望ましいです。

(NPO 法人 川に学ぶ体験活動協議会:通称RAC)

URL: <http://www.rac.gr.jp/01topnav/newsidosya.html>

(5)関係施策

提言「恐さを知って川と親しむために」(平成 12 年 10 月)

急な増水による河川水難事故防止アクションプラン(平成 19 年 7 月)

中小河川における水難事故防止策検討 WG 報告書(平成 21 年 1 月)

URL: <https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/play/casestudy.html>

※下記 URL から「第 2 回 中小河川における水難事故防止策検討 WG」にて議論されました注意看板の「記載内容の考え方と具体例」が参照できます。

URL: https://www.mlit.go.jp/river/shinngikai_blog/tyusyokasen_WG/dai02kai/dai02kai_siryoku3-3.pdf

(6)水難事故防止普及啓発事例集

各地で実施されている水難事故防止普及啓発の取組事例をとりまとめたもの

URL: <https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/anzen/img/jireisyu100426.pdf>

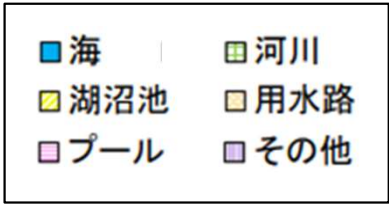
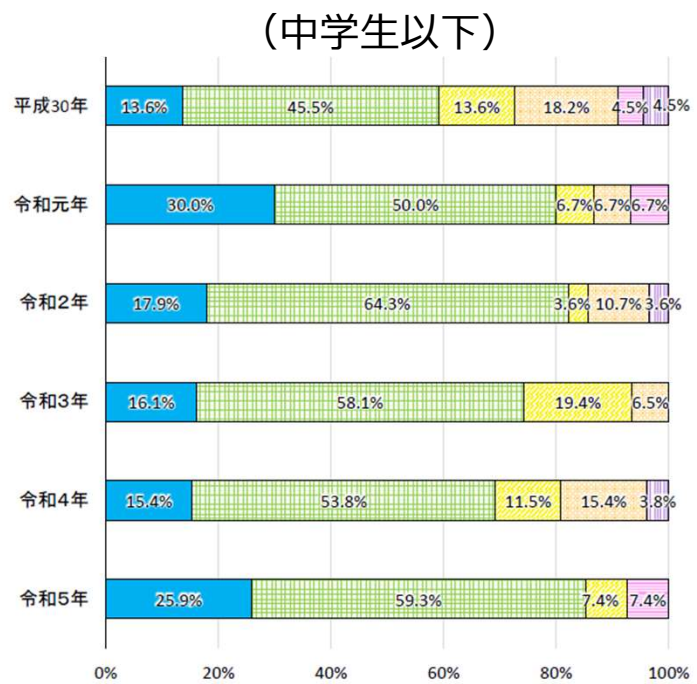
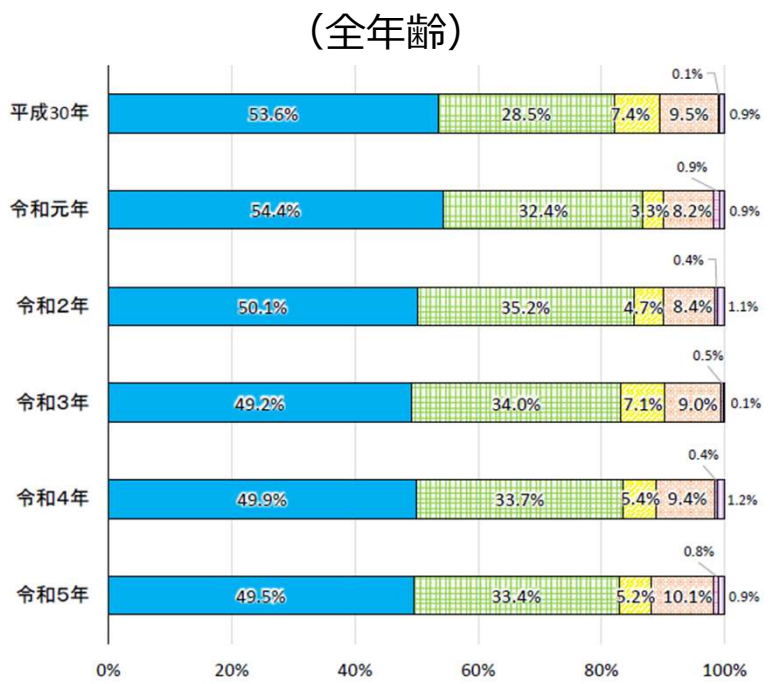
この他、河川水難事故防止に向けた情報は下記ポータルサイトにて取りまとめているので、ぜひご覧ください。

河川水難事故防止ポータルサイト

URL: <https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/play/anzenriyou.html>



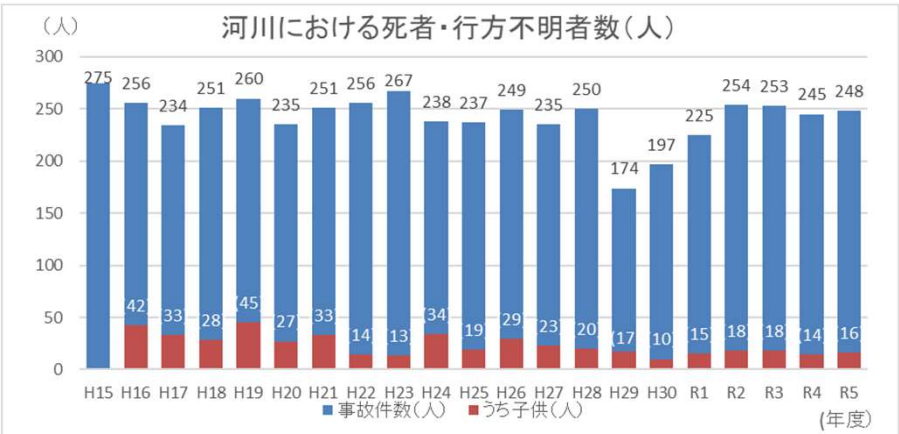
水難者（死者・行方不明者）の場所別構成比



出典：警察庁生活安全局生活安全企画課「令和5年における水難の概況」

“河川”は“海”について 2 番目に高い 子どもでは“河川”での発生が最も多い

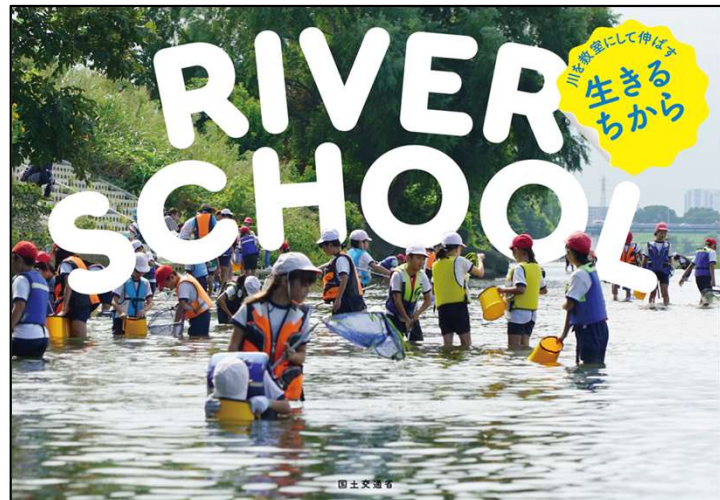
河川水難事故は毎年多発



○平成20年7月の都賀川水難事故では、児童3人を含む5人が死亡

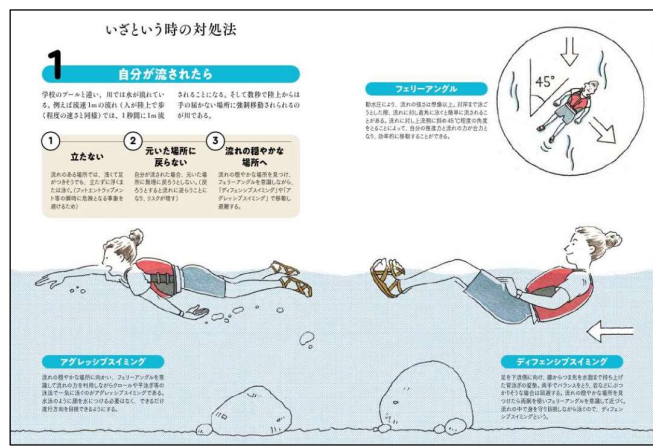


■ RIVER SCHOOL 川を教室にして伸ばす生きるちから
【教員向けパンフレット】
(国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課作成)



<https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/pdf/riverschool.pdf>

■ 水辺の安全ハンドブック
【水辺で活動する保護者・団体・学校関係者等向けハンドブック】
(公営財団法人 河川財団作成)



<https://www.kasen.or.jp/mizube/tabid129.html>

■ リバーアドベンチャー ～川に魅せられし者たち～
【子ども向けRPG風水難事故防止動画】
(国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課作成)



<https://www.youtube.com/watch?v=IrIkZCm11l0&feature=youtu.be>

■ うんこドリル 川の安全【子ども向け学習用冊子・アプリ】
(国土交通省、河川財団 監修、文響社発行)



(冊子) <https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/pdf/unnkodoriru.pdf>
(WEBアプリ) <https://play.unkogakuen.com/manabi/game/river/?rf=drill>

写

保 交 対 第 2 号
令和 7 年 4 月 9 日

文部科学省 総合教育政策局
男女共同参画共生社会学習・安全課長 殿

海上保安庁交通部安全対策課長（公印省略）

海での水難事故防止への協力願い（依頼）

平素より海上保安業務についてご理解とご協力をいただきありがとうございます。

例年、春季大型連休から学校等の夏休み期間にかけて釣りや遊泳等のマリレジャーを楽しむ方が増加する傾向があり、今年も海での水難事故の発生が懸念されます。

このため、当庁では全国の行政機関や民間団体と連携し、海での水難事故防止に向けた安全啓発活動に取り組んでいるところです。

これからマリレジャーシーズンを迎えるに当たり、当庁では水難事故を防止するため、現場における安全啓発活動に加えてマリレジャーごとの事故防止のための情報をまとめた総合安全情報サイト「ウォーターセーフティガイド」の周知により、安全に関する知識を身に付けていただきたいと思います。

貴省におかれましては、学校教育機関を通じて児童や生徒、その保護者等に、別紙「ウォーターセーフティガイド」の周知にご協力を賜りますようお願いいたします。

ウォーターセーフティガイドとは



<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/watersafety/>

以下の8つのマリンレジャーについて事故防止のための情報を取りまとめた総合安全情報Webサイトです。

- モーターボート
- 水上オートバイ
- 遊泳
- スノーケリング
- カヌー
- スタンドアップパドルボード
- ミニボート
- 釣り

16歳未満の事故者が多い「遊泳」について掲載内容の一部を紹介します。

詳しくは右の二次元コードからウォーターセーフティガイドをご覧ください。



【二次元コード】

海で遊ぶときの注意

海はプールと違って、泳ぎが得意な方でも波や潮の流れにより溺れてしまうことがあります。

海水浴は、遊泳区域が旗やロープで示されており、ライフセーバーや監視員が居る開設された海水浴場で泳ぎましょう。

天気予報や自身の体調を確認するとともに、ライフジャケットや防水パック入り携帯電話などを持っていきましょう。



離岸流について

沖に向かって発生する強い流れに注意しましょう。離岸流はとても強い流れのため、一旦この流れに巻き込まれてしまうと、気がつかないうちに沖まで流されてしまい大変危険です。

沖に流された場合は、落ち着いて海岸と平行に泳いで離岸流から脱出しましょう。



子どもから離れない

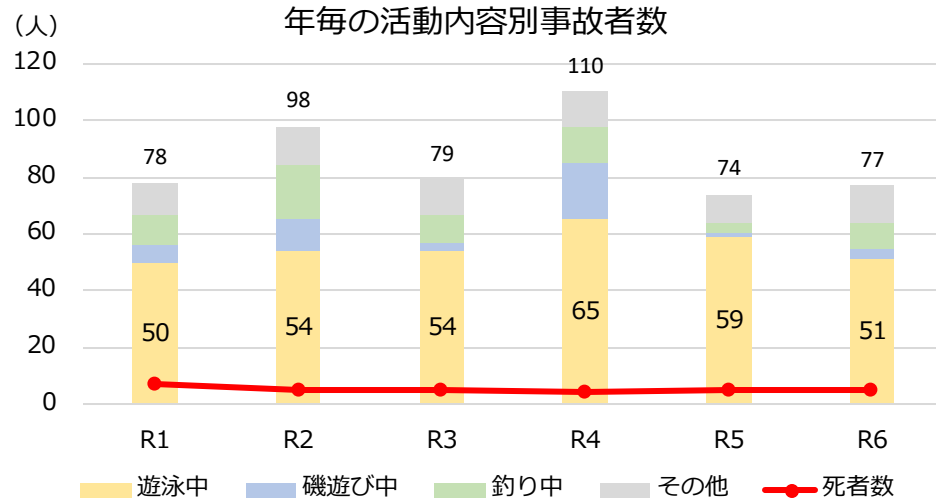
子どもは大人に比べ危険に対する判断ができません。思いがけず小さな波でも足をすくわれ、溺れることがありますので、保護者の方は、常に子どもから離れないようにしましょう。また、万が一に備えライフジャケットを着用させましょう。

水辺に子どものみでいるのを見かけたら、大人が注意するようにしましょう。

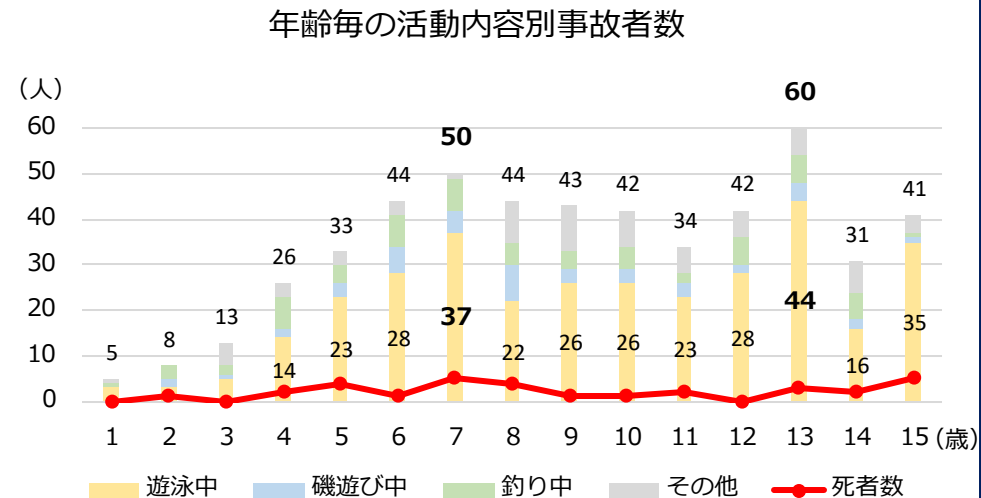
波打ち際でも、子どもが波にさらわれ沖に流される事故が発生しています。海に入っていないなくても油断は禁物です。



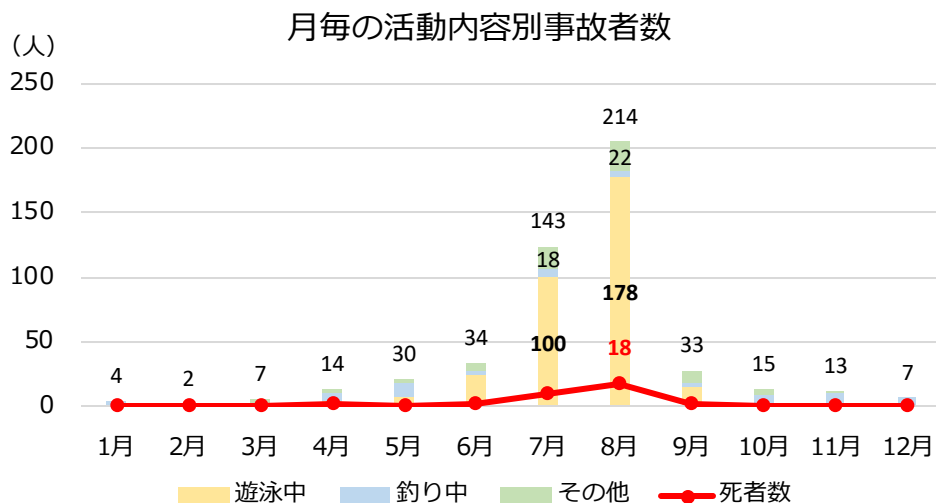
16歳未満の事故者状況（R1-R6）



半数以上が**遊泳中**に発生

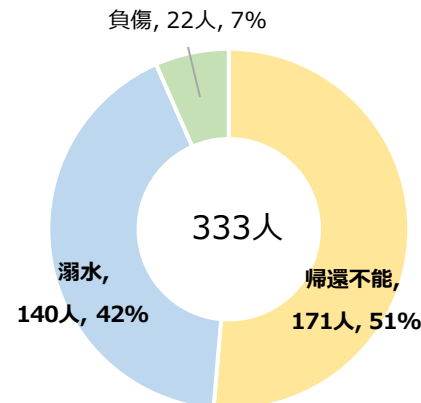


7歳と13歳の事故が多い

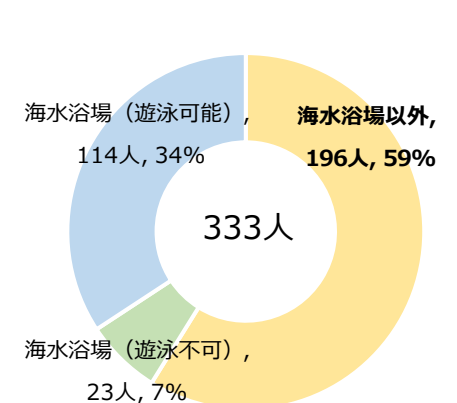


5月から事故が増え始め**7月、8月に急増**

遊泳中の事故内容別の割合



遊泳中の事故発生場所別の割合



溺死と帰還不能※が多く、大半が海水浴場以外で発生

※沖に流されるなど、保護が可能な陸岸に戻れない状態

海上保安庁の取組について



遊泳者への安全啓発活動



安全教室におけるライフジャケットの着用体験

事件事例の紹介

遊泳中に沖に流された事故

中学生が沖に向け遊泳していたところ、潮に流され戻れなくなりましたが、運よく付近の岩場に漂着し、通りかかったゴムボートに救助されました。



浮き具で遊んでいたら

沖に流された事故

小学生の姉弟が波打ち際で大型浮き具に乗っていたところ、風の影響で沖に流されました。父親が助けようとするも追いつかず、その後、ボートにより救助されました。



保護者が目を離したときに

溺れた事故

家族でスノーケリングをしていたところ、親が目を離した際に、小学生の子どもが海面を叩きながら溺れていました。父の救助が間に合い、病院に搬送されましたが、1週間の療養となりました。

